

令和5年度 自己評価及び関係者評価

加古川市立氷丘幼稚園

- 1 教育目標 豊かな感性を育み、元気に遊ぶ子の育成 一様な感情体験の中で自己を発揮する子ー
- 2 めざす子どもの姿 ○自分で考えのびのび表現できる子 ○誰とでも遊び思いやりのある子 ○夢中になり力いっぱい頑張る子
- 3 評価基準 A：よくはてはまる B：おおむねあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
- 4 自己評価

評価項目	評価の観点	自己評価	達成状況と改善の方策（◎成果 △課題 ※改善の方策）	関係者評価
教育目標の達成	1 発達年齢に応じた基本的な生活習慣の自立を図る指導を行っている。	A	◎子どもの発達や興味に応じて、遊びの内容を工夫したり、意欲的に取り組んだりできるよう指導を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は本当によく頑張っておられる。子どもたちの元気な姿を見たり楽しそうな声を聞くと私たちまで元気になる。今後も楽しい園づくりに励んでほしい。 園児は大きな声で、元気にあいさつができています。園長先生の毎朝のあいさつ立ち番の効果が出ている。指導の積み重ねである。 先生方が疲弊しないように働き方改革を積極的に推進してほしい。
	2 物事に意欲的に取り組み、創意工夫し、やり遂げる力を育てる指導を行っている。	B	◎教育目標に沿って、友だちと一緒に集団生活を楽しみ、成長できるような指導を行っている。	
	3 思いやりの心をもって人と接し、望ましい集団生活ができる指導を行っている。	A	△様々な発達段階の子どもがいる中で、一人一人に丁寧に寄り添う難しさを感じるが、しっかり学びへとつながる援助をしていきたい。	
	4 自然との出会い、体験学習を通して感動の心や愛情を育む指導を行っている。	B	※教育目標と子どもの実態（発達段階や人数など）とがずれることのないよう、職員間でしっかりと考えていく必要があると感じる。	
	5 経験したことや、自分の気持ちを言葉で表現し伝え合う喜びを知ることができる指導を行っている。	A		
保育の指導計画	1 子どもの実態を踏まえ、発育発達に即した教育課程（月案、週案）を作成し、子どもの主体性を重んじ、意欲を高める実践ができています。	B	◎一人一人にとって学びのある保育となるよう、担任をはじめ職員で丁寧に計画をしていくことができています。特に、季節に応じて様々な行事や遊びを体験し、貴重な学びとなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 園児数の減少に伴い、運動会や音楽会で合同で実施できる演目を導入したのはとてもよかった。 今後も従前の指導にとらわれず、現状にあったやり方を工夫改善してみてもどうか。
	2 園行事は時期や内容など適切に実施されている。	A	◎週案で日々の保育を振り返りながら、子どもの実態を把握し、次の保育へ活かすことができています。	
	3 評価、反省を活かし、指導計画や行事などの見直しに努めている。	B	△日々、目の前の課題に追われている状況であるが、子どもが主体的に遊ぶことができるよう支えていきたい。 ※反省や評価をより大切に、行事の見直しや工夫を行う。	
組の幼児理解	1 子どもたちを認め、自己肯定感がもてるように援助し、幼稚園が楽しいと感じられるよう配慮している。	A	◎一人一人の思いに丁寧に寄り添いながら、個に応じた関わりや援助ができた。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートから、ほとんどの子どもが楽しく幼稚園に通えていることが素晴らしい。 一人一人の子どもの困り感に寄り添いながら、子どもや保護者の願いに応えた教育活動をお願いしたい。
	2 子どもの思いを受け止め、一人一人の気持ちに寄り添う関わりができるよう努めている。	A	△支援を必要とする子どもとの関わりが多くなってしまいう日もありますが、一人一人の寄り添いが本当に適切か、精査していける集団（教師）になりたい。	
	3 保育記録を活用し、日々の指導につなげている。	B	※保育記録を見直したり、反省を次に活かせるよう引き続き努めていきたい。	
環境構成	1 子どもがそれぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って伸び伸びと活動することができる環境を整えている。	B	◎身近な自然や季節の変化に気づいたり、遊びに取り入れたりできるよう、環境を整えることができた。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子ども目線に立ち、心の通い合う教育活動を実践していただきたい。 園庭に畑があり、自分たちで育てている環境がよい。植物の生長を実感できるのは、教育上大変良い教材で素晴らしいと思う。
	2 子どもが発想を柔軟に取り入れ、季節の変化や子どもの実態に配慮して装飾や掲示を考えて、保育室の環境を整えている。	A	◎慣れた環境の中で、安心安定して過ごすことができる遊びや生活を保障している。	
	3 身近な自然や動植物との関わりを重視した環境構成をしている。	B	△※子どもの思いや主体性にもとづいたものになっているか、教師自身も自由な発想でチャレンジしている環境かは課題だと感じている。	
表現力の育成	1 子どもが言葉で伝え合う場を、年齢に応じて位置づけている。（当番活動、誕生会、行事等）	A	◎一人一人の声や、言葉にならない思いへの寄り添いを大切にすることで、伸び伸びと自己を発揮する姿勢につながっている。	<ul style="list-style-type: none"> どの行事も子どもたちで考えたり、動いたりしているところに感心した。特に、生活発表会の練習で、子どもたちが自ら作り上げていく様子を拝見し、とても気持ちが和んだ。 暗唱チャレンジは、言葉の力を養い、家族間の会話の一役を担っていると思う。
	2 子どもが言葉で伝えたくなくなったり、伝え合う喜びを味わったりするような心を動かす体験をもつことができるように配慮している。	B	△たくさんの表現の仕方がある中で、自分を表現しにくい幼児にとってどんな方法ならうまくいくのか試しながら、その子なりの表現方法を大切にしていきたい。	
	3 子どもが様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている。	B	※安心して表現できる場となるよう、教師も一緒に楽しく関わっていきたい。	

評価項目	評価の観点	自己評価	達成状況と改善の方策（◎成果 △課題 ※改善の方策）	関係者評価	
保護者への対応	1 個々の子どもの様子は、保護者に直接話をするなどして相互に伝え合っている。	A	◎園だより、クラスだより、園長だより、ホームページ、ドキュメンテーション、降園時の話を通して、子どもの取組や成長の過程などを伝えてきた。 ◎日々、保護者と丁寧に関わり、信頼関係を築くことができていると感じる。 △※子どもの遊びの様子を伝えるだけでなく、その遊びがどんな学びにつながるのか、教師の意図などをしっかりと保護者に伝えていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 園内では、子どもたちの育ちがよくわかるように掲示（ドキュメンテーション）など工夫がなされている。地域に広がり、幼稚園の就園につながればと思う。 今後もおたよりやホームページ、降園時の担任の話などを通して家庭との連携を密にしていきたい。 	A
	2 保護者からの相談には誠意をもって対応し、自分の考えをきちんと話し、地域の子育てセンターとしての役割を果たせるよう、保護者の話に心を開いてよく聞くようにしている。	A			
	3 園の教育目標や方針を分かりやすく説明したり、保育参観等の子どもの様子を知らせる機会を設けたり、幼稚園での様々な行事での子どもの活動の様子を園便りやクラスだより等で知らせたりして、積極的情報提供に努めている。	B			
運営・組織	1 全教職員が共通理解し、職務分担を積極的に遂行できている。	B	◎風通しのよい職場で、何でも話せる明るい組織だと感じる。協調もでき、気持ちよく保育を行えることに感謝したい。 △職員の少なさによる業務の負担を感じることもあり、業務内容の見直しが必要である。 ※職員一人一人が当事者意識をもって、責任をもって子どもと向き合うことが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> 先生方のチームワークがよくとれている。子どもたちの生き生きとしている様子を見れば、よくわかる。 来園した時の幼稚園の雰囲気が良い。これは先生同士のコミュニケーションがよくとれているからだと思う。 	A
	2 教職員が互いに努力を認め合い、励まし合うことができる、明るい職場作りに努めている。	A			
	3 人間関係を大切にし、報告・連絡・相談が円滑にできている。	A			
	4 幼児の実態や保護者の願い、教育目標を把握し、自己課題をもってクラス経営にあたっている。	B			
研究・研修	1 研究会、研修会に積極的に参加し、自らの資質の向上に努めている。	B	◎様々な研修に参加し、専門性の向上に努めている。 △本当に自己に必要な研修ができているか、主体的に学べているかなど課題だと感じる。 △※日々の保育に追われ研修で学んだことを、職員間で十分共有したり取り入れたりできるような話し合いの場をもつことができていない。長期休暇中を活用するなど自らの資質を高めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人を大切に、熱心に保育に向き合う姿勢は研修の成果の賜物である。 幼少期からの基本的なしつけ、協調性などの指導は遊びの中から生まれるため、先生方の見守りが大変重要である。今後も自己研鑽をお願いしたい。 	B
	2 幼児の様々な実態に応じた指導内容や方法、教育的配慮ができるように専門性の向上に努めている。	B			
	3 時代の流れや社会の状況の変化に対応した幼稚園教育の在り方、教育課題の把握に努め、解決に向けた取り組みを行っている。	B			
危機管理	1 施設、設備、遊具等の点検を計画的に実施し、行き届いた改善を行っている。	A	◎定期的に点検したり、避難訓練を実施したりしながら、様々な立場から危機管理に取り組むことができている。 △※近年、様々な災害や事件、出来事が増えているため、万が一の時に備えた対応や職員間で情報共有しながら、対策を講じていけるよう準備をしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 園庭の整備や草刈り、木の剪定等で安心・安全な園づくりがなされている。 地域と行政が連携し、よりよい教育を模索しながら、サポートしていきたい。 	A
	2 万が一の事故や怪我に対して、全職員が意思統一を図り、適切に対応している。	B			
	3 個人情報などの文章についての管理の徹底を図っている。	A			
	4 新しい生活様式に取組み、衛生管理や感染防止の対策に努めている。	B			